



発行所 磐城日日新聞社
社址 小名浜町本町1丁目1番
電話 103番

鹿島村長の争覇戦

歴史的な選挙開始か

隣接各村を併呑し、更に鹿島村の東半を抱き込んで成る小名浜市誕生の構想が、諸種の客観的動向に著々實現への軌道を描きつつある折柄、鹿島村に取つては勢い幾度かの運命を握り、恐らくは最後の村長であらうと、この首長戦を目標に控えた同村では、この歴史の村長の旗を飾り、延いては新市制小名浜市役所の重要ポストを約束される数年後の見通しも手傳つて、早くも嵐の前哨戦が始められた。

それでは四氏が同時に出馬して、空前絶後の乱戦が展開されるであろうか。小名浜町第八五二回臨時町会は十七日警察署会議室にて開催される議案は次の通り

小名浜臨時町会

- 議案第一号 小名浜町職員定数條例の件
議案第二号 小名浜町土木事業執行の件
議案第三号 土地買収の件
議案第四号 小名浜町住宅條例制定の件
議案第五号 東邦銀行に對して出資の件
議案第六号 昭和二十五年小名浜町歳入歳出追加更正算の件
議案第七号 製氷冷蔵工場建設に關する件

現地調査を開始

庶民住宅敷地決定か

小名浜町会務委員会は十六日午前七時より町長室に高木(新)委員長、江尻副委員長、木村委員、坪内委員、佐藤委員、小野(作)厚生委員、長瀬(比佐)村上、金澤委員出席、町長より町長、長瀬町長より庶民住宅建設敷地として全町愛宕三三四から涙が溢れた。彼女はそれを拭きぬぐもしなかつた。おえつも涙らさずとばは一語一語力強かつた。

側溝工事を開始

検査と相談

側溝工事を開始

検査と相談

側溝工事を開始

検査と相談

側溝工事を開始

検査と相談

側溝工事を開始

検査と相談

側溝工事を開始

検査と相談

急募 新聞擴張員 數名
小名浜在住の方に男女の別を問いません
希望者は十八日午前九時迄履歴書持参
社下さい

旅館 若葉館
小名浜町水素前
(電話三五〇番)
急募 御座敷女中さん 數名
新年會は小瀧で!!
お電話ですぐお迎えに参ります

印刷物は 長瀬印刷所
女子事務員 募集
右希望者は履歴書持参一月二十日
午前十時迄来所下さい
小名浜町古港二二六(電一九番)

鹿島建設株式會社
所長 阿部清逸郎
湯本町下淺貝
電話二一九番

小説 雲遙かなり 伊納川 銀
愛憎のきずな
折れ曲る公園のただら坂を、葉陰を拾いながらぶらぶら下ると、だん／＼と視界が狭まりながら海は色々の角度から、きらめく陽を反射して、七色の虹を作つていた。坂をおり切つて、ようやく町のさわめきが微かに聞える平坦な道に出た時、ひよつこり向かうから姿

鏡に於いて、更に四家現職と佐藤老はその情實關係に於いて、おの／＼共喰ひの愚を避けることは必定であり、荒川氏の出馬が決すれば當然八代氏の立候補は見合はせられるものと見られ、佐藤、四家兩氏の間に、当事者以外の複雑な事情も介在して、簡単に即決し難い状態にあるが、窮極に於いてその何れか譲歩するに相違ないと思はれてゐる、かうした立場から今次首

その當選は決定的と思われる同氏の出馬がなかつた場合、現村長と佐藤、四家兩氏の何れか一人(未だ確定せず)との決戦が行われ、四家氏出場の場合、苦戦乍ら、案外このグロウホースに跳敵が擧がるのではなからうか

いよいよ選挙院補欠選挙が開始されたので記者は湯本町内全般にわたり空気を探訪してみた。先づ第一に松平勇雄氏であるが本町内居住者でな

このだから何とたのみに行つても不便と如何に自由黨でも我々と少々縁が遠い人物だよと云うのが多い様である。次に田中利勝氏であるが昨年は惜敗したのでから今回は一つ出してやうという、當選させたいという聲も濃厚だから、従つて僅少の差で今度當選するであろうとの聲が高

